



私のひとりごと

「霊が宿る木」

我が家から、3メートルほどの道路を隔てて小高い山があり、斜面には一本の大きな杉の木が生えている。幹周りの直径は70センチ、高さは8メートルを超えている。動く雲を背景に見上げれば、生き物のように倒れ掛かってくるようにも見える。普段は気にも掛けていないが、近年の集中豪雨による土砂災害などの被害を想像すれば怖くなって来る。もともと小高い山は岩盤で、その上にわずかに積もった土の上に草木が生えている。最近、雨の度に小さな石ころが落ちるようになり、大きな杉の木を支えるには、限界に近づいているとかねがね思っていた。仮に杉の木が倒れれば、我が家を直撃するのは明らかである。ただ、その木は私の持ち物ではない。そこで木の所有者に「切って頂けませんか?」と何度かお願いしてみると、「切るなり何なりと、好きにしてくれたら良いよ。」と気安いお返事を頂くのであるが、一向に切る気配もない。なので、木を切ると幾ら掛かるのか?見積もりを取ることにした。すると、木を倒すだけで15万円。さらに処分には大きなクレーンも必要で、トータル50万円くらいかかるらしい。「う〜ん…自分の家の木じゃないのに…」と、ここに至っては、命が惜しいかお金が惜しいかとの話であるが、なかなか踏ん切りが付かない。こうなると人間はあさましいもので、何とか安くする方法を模索する。仕事柄、高いところにはさほど恐怖心はない。家内に、「自分で上から少しずつ切ろうかな」と言えば、「アホ!落ちたら、お金惜しんで命落としたと笑いものやで」とのご意見。たしかに…この年になると安全に切れる自信も無い。ならば…と、次の方法を考えてみると、幸い?件の木の近くには電線と電話線がある。もし木が倒れれば、ライフラインに重大な影響を及ぼすのは明白である。そこで、区長さんを通じ、電力会社さんに伐採をお願いすると、無償で切って頂けることになった。区長さんのご尽力のお陰だが、言ってみるものである。伐採当日、道路は通行止めになり、予想した通り大掛かりな工事となったが、お陰様で長年の不安は取り除かれた。



【倒れる音を聞くと、木にも命があるんだなと感じます】

ところが…である。人間は不思議なもので、子供の頃から見ていた木が無くなると、何処となく寂しく感じてしまう。今でも、木を見上げる癖は続いていて、その内あることが気になりだしたのだ…。大木には、神や霊が宿るとも言われる。大木を神木として祭り、古来から信仰もされてきた。また高いところには霊が宿るとも言われる。断っておくが、私は霊能力者でもなければ、普段は特に霊感が強い訳でもない。むしろ鈍感なほうではあるが、信じがたい様な霊的体験を持つ私は、霊は確かに居ると確信している。また、霊が出て仕方なかったが、大木を切った途端、霊が出なくなった話も知っている。ただそれだけの事であるが、もし…もし、あの木が霊の宿る木だったとしたら、無くなった今、霊はどこに宿るのだろう…。我が家の玄関先のツツジの木では低すぎだし、日よけ対策で窓辺からみつくアサガオのツルでは季節限定だし…。霊も宿るところに困っているのかもしれないな、とバカなこと悩んでいる今日この頃である。

ではまた来月もお会いしましょう。
今月も最後まで読んでいただき…、

あーがしう
ございました!!

